

株式会社インテリジェント ウェーブ

第34期 上半期 事業のご報告

2016.7.1 ▶ 2016.12.31

株主通信 VOL. 32

組織風土の進化により さらなる成長を 実現します。



代表取締役社長
い せ き つかさ
井関 司

を着実に受注につなげることで、通期の業績予想を達成できるよう全社一丸となって取り組んでいきます。

新たな取組みの成果

上半期は、業績面で堅調だったことに加え、新しいサービスや新製品の開発、販売といった面でも、一定の成果が得られたと認識しています。

新しいサービスとしては、前期から開発を続けてきた**IOASIS（アイオアシス）** の販売が順調に進みました。IOASISは、クレジットカードの加盟店契約業務（アクワイアリング業務）を担うシステムで、顧客が個々にシステムを構えることなく業務を開始することができるサービスです。昨年受注した3社の案件については既に導入が完了し、サービス開始以来、安定的に稼働しています。今年に入り新たにもう1社の受注も獲得しており、サービス立ち上げ当初の計画どおりに進捗しています。

また、クレジットカードの不正利用を検知する当社製品**ACEPlus（エースプラス）** についても、顧客が独自にシステムを所有することなくサービスを利用できるシステムの提供に向け、開発を開始しました。既に1社の受注が決定しており、年内のサービス開始を目指して準備を進めています。あわせて、ACEPlusの付加価値をより高めるため、AI（人工知能）を応用した製品開発も企画しています。クレジットカードの安心安全な決済を実現するためのシステム需要は近年、業界内

上半期の業績について

上半期の当社業績は、金融システムソリューション事業、プロダクトソリューション事業ともに、前年同期比で増収増益となりました。

金融システムソリューション事業では、クレジットカード会社のブランド統合やスマートフォン決済等の様々な開発案件が増加した結果、売上高、営業利益とも前年同期比で増加しました。

プロダクトソリューション事業では、サイバーセキュリティ対策製品**Traps（トラップス）** を中心とした情報セキュリティ製品の販売が堅調に推移し、売上高は期初予想どおり、営業利益は期初予想を上回る結果を残すことができました。

上半期を終え、受注残高が前期末より大幅に伸長したことに加えて、開発、販売とも各種案件の新たな引き合いも増加しています。下半期は、既に手掛けている開発案件を確実に完成させるとともに、現在進めている商談

で高まりつつあり、当社の強みを活かして顧客の期待に応えていきたいと考えています。

前期に販売を開始した新製品**OnCore** (オンコア)  も受注が拡大しています。OnCoreは、決済ネットワークを支えるインフラともいえるべき当社製品NET+1 (ネットプラスワン) のネットワーク接続機能を継承した製品です。海外のカード市場への販売を前提として開発した結果、どのようなネットワーク環境でも簡易に、かつ短期間で導入できる優位性が評価され、国内の商談が活発です。この上半期には、特にスマートフォン決済サーバーとクレジットカード会社のネットワークを接続する用途として、受注を獲得することができました。

こうした新しいサービスや新製品の成果は、躊躇なく先行して開発投資を行ってきたことが寄与した結果であると考えています。今後も機会を逃さずに付加価値の高い製品を投入することで、当社の競争力を高めていきます。

組織風土の進化

2017年6月期は、働き方や組織風土の進化にも取り組んでいます。私は、働きがいのある職場づくりと仕事以外の時間の創出が、社員の生活の質や人生にとって重要であると考えており、様々な施策や労務人事制度を導入しました。

働きがいのある職場づくりの一環として、プロジェクト表彰制度を昨年7月に実施しました。事業への社員の貢献に報いる目的で、事業機会の拡大など業績への直接的な貢献だけでなく、経費削減の施策立案などの取り組みも含む30を超えるプロジェクトを対象に表彰しました。

また、労務人事面での新たな取り組みとして、メンター制度とフリーエージェント制度を開始しました。メンター制度とは、社員のキャリア形成やスキル向上、人間関係の改善

といった職場の課題やプライベートの悩みなどについて、直属の上司には話しづらい場合に、他部門の上司に直接相談できる機会を定期的に設ける仕組みです。フリーエージェント制度は、同一業務が長期にわたる担当者が他部署への異動を申請できる制度であり、社員本人のモチベーションを高めると同時に仕事の効率化を図り、それぞれの社員に適した役割でのキャリアアップを目的としています。

一方、仕事以外の時間の創出については、会議体の時間制限や残業の事前申請制度等を新たに導入しました。社員全員が働き方を見直し、仕事の進め方を自ら考え実行に移してこそ、各人が最大限の力を発揮できるものと考えています。効率的な働き方により創出された時間を利用して、社員一人ひとりが自らの生き方を見つめ直し、実りある人生を歩んでもらうための施策であることを、私から社員に直接説明しています。

こうした取り組みを継続していくことが、当社の業務の質を高め、ひいては業績の向上につながるものと考えており、今後も長期的な視野の下、進化し続ける組織風土づくりに取り組んでいきます。

株主の皆さまへ

おかげさまで足元の業績は好調ですが、中長期的な成長のためには、「好調な時こそ、次の手を打つ」という考え方が重要です。既存の事業領域では営業活動を強化しつつ、一方で新製品の開発や組織風土の進化も実現していくことで、組織全体の活性化を促し、さらなる成長への道筋を描いてまいります。

2016年6月期は、配当額を1株あたり5円から6円に増額しました。今後とも、業績に連動する形で株主還元の実現を図っていきたいと考えています。株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

製品紹介

① Traps (トラップス)

Trapsは、マルウェアによるサイバー攻撃を防ぐためにイスラエルで開発された製品です。性能と導入実績で顧客から高い評価を受けており、セキュリティ対策市場の拡大を背景に引き合いが継続しています。**2016年にはTraps販売会社のなかで、実績が国内No.1となりました。**

今後も、全国で開催されるセミナーやシンポジウム等を活用しながら、Trapsをはじめとした優れた技術をもつイスラエルの製品を積極的に国内に紹介することで、より多くの顧客獲得を目指します。



日経ビジネスオンライン主催 経営課題解決シンポジウム
セキュリティSpecial (2017年1月)

② IOASIS (アイオアシス)

クレジットカードの業務のうち、加盟店を開拓し、クレジットカードが利用できるように契約する業務や、契約加盟店への売上代金の支払い等を管理する業務をアクワイアリング業務といいます。IOASISは、アクワイアリング業務に必要なクレジットカード決済システムを提供し、複数の金融機関で共同利用できるように開発したクラウド型のサービスです。顧客にとっては、初期投資の負担が小さく、かつ短期間で導入できることが共同利用型システムの特長です。

この度、株式会社琉球銀行様の「りゅうぎん加盟店サービス」にIOASISが採用され、2017年1月よりサービスが開始されました。訪日観光客の増加などを背景に、クレジットカードの利用機会も増加することが予想されており、当社サービスの需要も高まっていくものと期待しています。



『りゅうぎん加盟店サービス』発表記者会見
(2016年10月)

③ OnCore (オンコア)

OnCoreは、クレジットカードの決済や証券取引関連のシステム開発で培った技術を基に開発した新製品です。クレジットカードのネットワーク接続機能を担うソフトウェアとして国内で高いシェアを誇る当社製品NET+1（ネットプラスワン）の機能を継承し、ソフトウェアとハードウェアが一体となったパッケージ型の製品です。

当初は東南アジアの市場向けに、どのようなネットワーク環境でも簡易に接続することができるシステムとして開発しましたが、短期間で導入できる利点が国内で評価され、**スマートフォン決済におけるネットワーク接続やATM接続でも使われるなど、受注が順調に積み上がっています。**

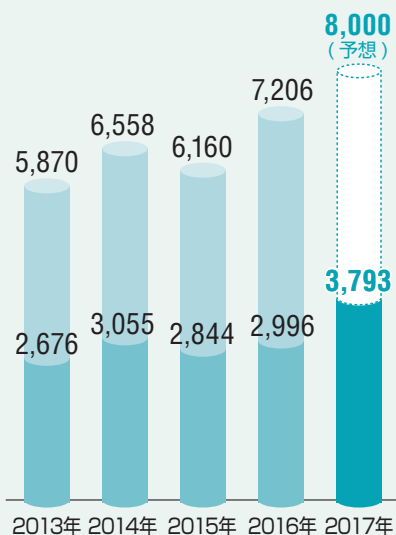


決算ハイライト (単位：百万円)

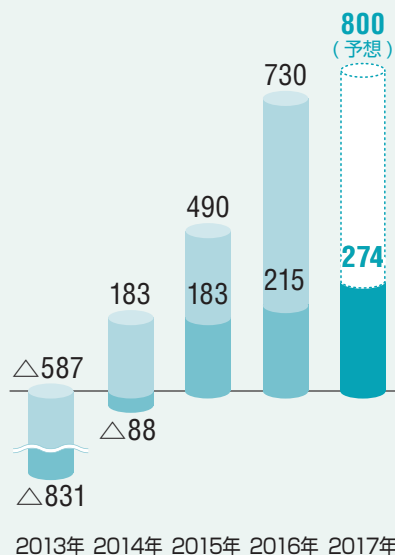
※2017年6月期より個別業績を開示しています。
2016年6月期以前については連結業績を記載しています。

■ 上半期 ■ 通期

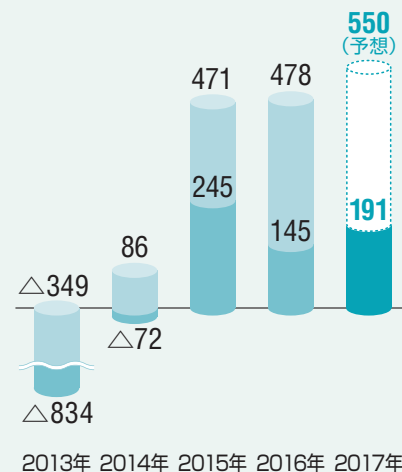
売上高



経常利益



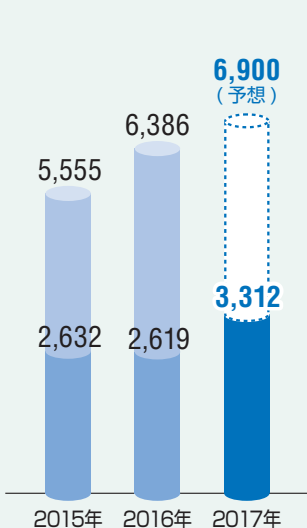
四半期(当期)純利益



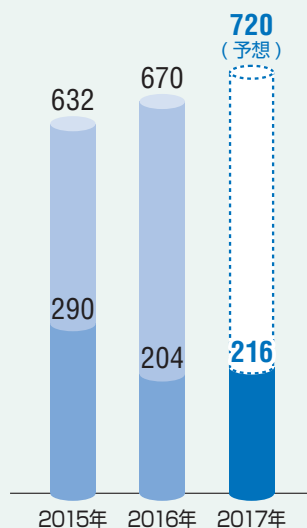
金融システムソリューション事業

■ 上半期 ■ 通期

売上高



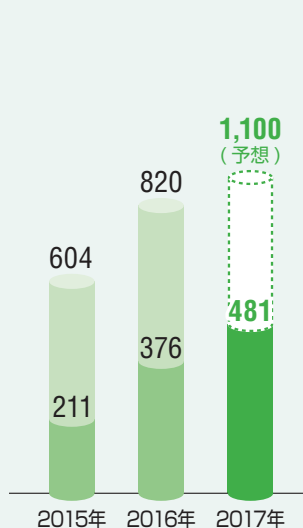
営業利益



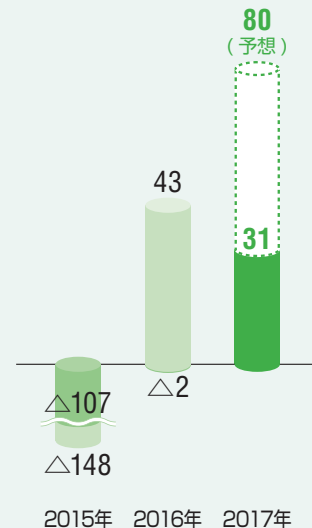
プロダクトソリューション事業

■ 上半期 ■ 通期

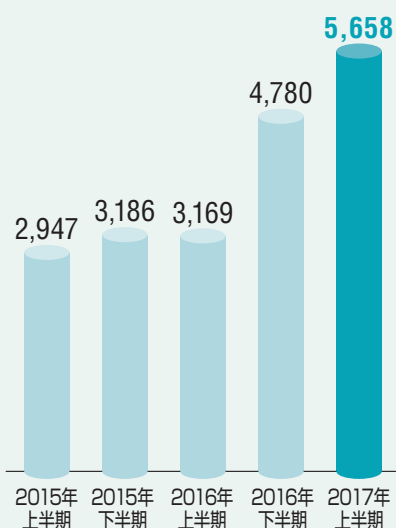
売上高



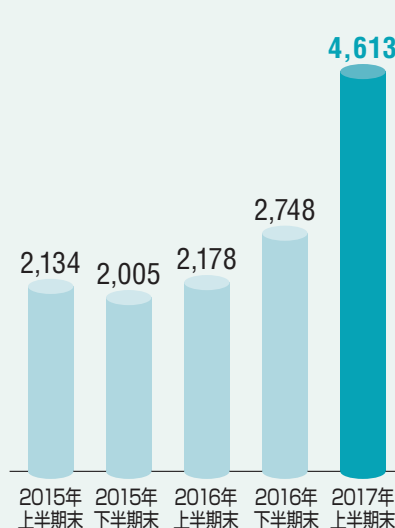
営業利益



受注高

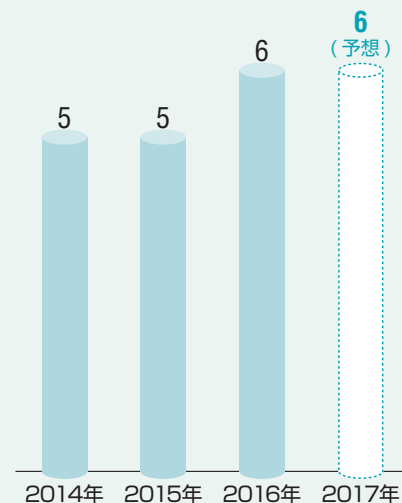


受注残高



配当金

(単位：円)



貸借対照表

	2016年6月期 期末	2017年6月期 上半期末
流動資産	4,681	4,770
固定資産	2,262	2,859
資産合計	6,944	7,629
流動負債	1,372	1,960
固定負債	558	566
負債合計	1,930	2,526
純資産	5,013	5,103
負債純資産合計	6,944	7,629

損益計算書

	2016年6月期 上半期	2017年6月期 上半期
売上高	2,996	3,793
売上原価	2,187	2,879
売上総利益	808	913
販売費及び一般管理費	606	666
営業利益	202	247
経常利益	215	274
税引前四半期純利益	199	274
四半期純利益	145	191

キャッシュ・フロー計算書

	2016年6月期	2017年6月期 上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	124	602
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192	△644
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33	△175
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△104	△215
現金及び現金同等物の期首残高	2,857	2,752
現金及び現金同等物の期末残高	2,752	2,537

※2017年6月期より個別業績を開示しています。
2016年6月期については、貸借対照表は個別業績を、損益計算書及び
キャッシュ・フロー計算書は連結業績を記載しています。

会社概要

設 立 年 月 1984年12月
資 本 金 8億4,375万円
従 業 員 数 326名
ウェブサイト <http://www.iwi.co.jp>

取締役及び監査役

代表取締役社長	井関 司	取 締 役	川上 晃司
専務取締役	垣東 充	取 締 役	渡部 晃
専務取締役	大山 景司	常 勤 監 査 役	白杉 政晴
常務取締役	生井 康一	監 査 役	小堀 秀明
常務取締役	立野岡 健一	監 査 役	大西 恭二
取 締 役	松田 剛	監 査 役	櫻井 通晴
取 締 役	土井 一郎	監 査 役	佐藤 宏

株式の状況

発行済株式の総数 26,340,000株
株 主 総 数 9,528名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大日本印刷株式会社	13,330,700	50.61
安達 一彦	2,731,900	10.37
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	806,300	3.06
MSIP CLIENT SECURITIES	385,300	1.46
インテリジェント ウェイブ 従業員持株会	384,700	1.46

株主メモ

事 業 年 度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

定 時 株 主 総 会 毎年9月

期末配当の基準日 6月30日

中間配当の基準日 12月31日

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事 務 取 扱 場 所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

電子公告により行います。
(<http://www.iwi.co.jp>)

公 告 方 法 但し、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない場
合は、日本経済新聞に掲載いたします。